

事業番号	246
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	《道路側溝新設事業》							担当部	都市建設部	
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系	担当課	道路課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	道路係		
	総合計画 分野別計画	主目的	6 都市基盤		23 道路		1 円滑に移動できる道路を整備します				
		副目的									
	予算区分	款	8	項	2	目	3	大	5	中	
	根拠法令・個別計画	道路法									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	市民が安心して生活でき、また沿線住民の利便の向上をめざし、道路環境の改善を図る。									
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境に配慮して、地元要望に基づき道路排水機能が不良な道路に側溝を新設する。</li> <li>工事の設計、積算及び施工管理に関する事務</li> </ul> <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <p>【委託業務内容】 設計、測量等の委託(委託料:6,835千円)</p> <p>【工事の内容】 道路側溝新設改良事業L=774m(工事契約額:41,831千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳</p> <p>【委託業務内容】 設計、測量等の委託(委託料:5,500千円)</p> <p>【工事の内容】 側溝新設改良事業(工事請負費:44,500千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	34,953	43,333	48,666	50,000	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,052	1,052	1,052	1,052
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	36,005	44,385	49,718	51,052	
対前年比		%		123.2	112.0	102.6		
財源	一般財源	千円	36,005	44,385	49,718	51,052		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業 績	活動指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	整備延長	m	目標	670	740	800	690
			実績	800	744	774	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H23	H24	H25	H26
整備延長	m	目標	670	740	800	690	
		実績	800	744	774		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成25年度の実施結果		
	事業の達成状況	生活道路として利用されているが道路排水機能が不良な道路において、地域住民が安心な生活、安全な通行が可能となるよう、概ね目標延長どおりの道路整備を行った。	
	事業実施における課題	事業実施においては境界立会等が必要となりますが、その際に相手方の事業理解を得ることが困難な場合に事業実施の遅れが懸念される。 地元要望件数に対し、整備が追いついていない状況にあるので、工事のコスト縮減を図るとともに、事業の拡大を検討していく必要がある。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	生活道路として利用されている道路において、道路排水が適切に処理され、安全に通行できることを目的として当該事業を実施している。廃止すれば、道路環境の悪化につながる事となる。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	
	地元区との調整を密に図ることで、事業を円滑に遂行する。		
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	地元要望(区長申請等)に順次対応していること、また生活道路の安全走行の確保が図られていることから現状維持と判断した。	
	27年度以降の改善案	地元要望件数に対し、事業実施が追いついていない状況にあるため、道路構造基準を逸脱しない範囲で使用側溝蓋(グレーチング)の規格を使用場所や利用状況に応じて見直すなどのコスト縮減を図り、より多くの地元要望に応えることとする。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。